



イベントでの持続可能性の概要固まる

イベントマネジメントの国際標準規格の策定作業を進めているISO/PC250/WG1は11月7日(月)～10日(木)にブラジル サンパウロにて会議を開催しました。

会議には10カ国26名が参加し、ISO発行に向けた最終原案であるFDISの登録に向けた議論が行われました。

会議では原案についての合意が得られましたが、ISOマネジメントシステム規格全体に関わる調整が残っているため、来年1月下旬から2月上旬の間に開催される調整会議を経てFDISが公開される予定となっています。

会議の白熱ポイント

組織の自主性を尊重

マネジメントシステム規格は行動を規定するものではないとの考えが再度確認され、各国の考える「持続可能性」をそれぞれ尊重し、柔軟な運用ができるように規格の構成、表現等を調整していきました。

各国の言語を尊重

ISOは英語・フランス語・ロシア語が公用語ですが、世界中で使用されることを考え、類似用語がある場合、翻訳時になるべく誤解のない用語・表現を選択するように確認しています。これも使用を前提とした最終段階ならではの議論です。

ブレイクタイムは第2の会議

ブレイクタイムでの意見交換は重要で、会議の方向性を変えることもあります。そのため、参加者は誰と誰が話しているのかを結構チェックしています。

ブレイクタイムあれこれ



左上 コーヒーブレイクは貴重な意見交換の場

右上 ガラディナーは名物「シュラスコ」で肉三昧

左下 オプションツアーでは活気溢れる市場を見学

気になる数字

61%

IBM Global Business Service(米国)はソーシャルメディアとCRMに関する調査報告を発表した。「消費者が企業のソーシャルサイトに最も求めている役割」は「割引」でその数値は61%であるとした。企業側が考える消費者が求めている役割では60%と同程度ではあるものの、12項目中最も低い数値であり、大きなギャップが見られた。

その他、数値上の大きなギャップは「コミュニティ意識」であり、企業側は61%であったが、消費者は22%であった。原文：<http://bit.ly/ghgpi5> (PDF)

JACE Info

スポーツイベント検定 試験時間変更

11月26日(土)に実施するスポーツイベント検定の試験時刻を受験票の記載にある、**13:30～14:40**に変更いたしますので、ご注意ください。開始時間が30分繰り下げになりますが、終了時刻に変更はございません。

試験当日の事務局への連絡先は03-3238-7858となっております。

お問い合わせ先 鳴野(しぎの)、米山

編集後記

スポーツイベント検定も直前に迫り、多くの方に受験していただけることとなりました。中でも学生受験者が当初の予定よりも多く、驚いています。長年イベント産業界にありますが、こうした点からも現在スポーツイベントに集まっている注目度を実感しております。